

## \*お礼とご報告\*

法人事務局長 宇田川 篤

いつも恵泉女学園の歩みに深いご理解と温かいご支援、ならびにお励ましを賜り、感謝申し上げます。

恵泉女学園は、2029年に創立100周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年に向け、創立100周年記念事業の一つとして、フェロシップホールの建て替えを計画しております。約50年にわたり学園の礼拝と教育活動を支えてきたホールを、新たな時代にふさわしい姿へと更新し、次の50年に向けて、恵泉女学園の精神と教育理念を社会に発信する拠点となることを目指しております。資材費や人件費の高騰など、今後もさまざまな困難が予想されますが、必要な資金が満たされ、すべての計画が神様のみ心になんて進められ、学園にふさわしい建物が無事に完成しますよう、引き続き皆様のお祈りとご支援を賜れば幸いです。

また、『恵泉女学園百年史』の発行に向けた編集作業につきましても、多くの関係者のご協力を得て、着実に進められております。編集は大きく総論と学校史に分かれ、10以上の部会・グループが活動し、それぞれが会合を重ねながら資料研究と原稿作成に取り組んでおります。発行は2029年11月を予定しています。あわせて、記念式典や各種記念行事につきましても、100周年が近づくとつれて、順次具体化してまいります。

2024年11月より「創立100周年記念事業募金」を開始いたしました。ご寄付の際に多くの皆様からお寄せいただいた温かい励ましのメッセージは、学園のさらなる飛躍に向けて日々取り組む教職員一同の大きな力となっております。今後とも、100周年を祝う輪が

さらに広がっていくことを願っております。

一方で、学園は大学の学生募集停止という苦渋の決断から、まもなく3年を迎えようとしています。そのような厳しい状況の中にあっても、希望を失うことなく学びに向き合う学生一人ひとりの姿は、私たち教職員にとって大きな励ましであり、幾度となく勇気を与えられてきました。4月を迎えますと、大学には最終学年の学生のみが在籍することとなります。どうか最後の時まで、恵泉女学園大学の教育と理念を誠実に伝え続けることができますよう、また学生一人ひとりの歩みが守られますよう、お祈りいただければ幸いです。

恵泉女学園は、開校当初より、特定のキリスト教教派の支援によって運営されるミッションスクールとは異なり、創立者・河井道の人格、信仰、教育観に共鳴する多くの方々の精神的・経済的支えによって歩みを続けてまいりました。その道のりは決して平坦なものではなく、むしろ逆風の中にあっても、強い意志と信仰をもって前進してきた挑戦の連続であったと言えます。今日に至るまで財政的な困難を抱えながらも、志を高く持って学ぶ学生生徒の思いに応えたいとの願いのもと、高い人間力を備えた自立した女性を育成し、社会へ送り出すことを通して、学園の社会的使命を果たす教育活動に努めてまいりました。

今後も学園の維持・発展、教育研究のさらなる充実、財政基盤の確立、そして新フェロシップホール建築のために、「恵泉フェロシップ募金」ならびに「創立100周年記念事業募金」への変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## ■ 創立100周年記念事業募金 進捗状況のご報告

恵泉フェロシップの皆様におかれましては、日頃の活動へのご寄付に加え、2024年11月開始の「創立100周年記念事業募金」へも多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

開始から約1年5か月が経過いたしました。卒業生、(元)保護者・保証人、(元)教職員の皆様を中心とした多くの方々の温かいご厚志により、本プロジェクトは着実に歩みを進めております。在校生の皆様も諸活動を通して募金活動にご参加いただいております。

募金状況は、目標額は3億円としておりますが、2026年1月末時点で約1900件、約4千万円のお申し込みをいただいております。

本事業は、フェロシップホールの建て替えを中心として、恵泉

女学園の教育環境のさらなる拡充を目的としております。皆様からお寄せいただきましたご寄付は、本学園が次の100年も輝き続けるための確かな礎として、大切に活用させていただきます。

記念サイトでは、事業の詳細や最新情報を随時発信しております。ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。

## ■ 100周年記念サイト

<https://keisenjogakuen.jp/special/>



記念すべき節目を最高の形で迎えられるよう、教職員一同、より一層邁進してまいります。完遂に向け、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



## 2025年度活動報告 中学・高等学校



校長 本山 早苗

恵泉フェロシップ会員の皆様、日頃からのお祈りとお支えに心より感謝申し上げます。

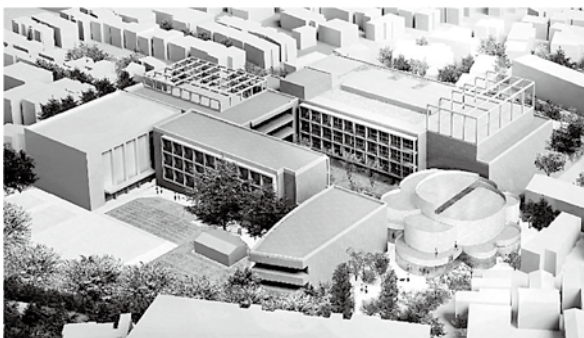
2025年度は、学園創立100周年記念事業の一環としてのフェロシップホール建替えに向けて、妹島和世建築設計事務所による基本設計案を施工する業者の選定までに半年以上を要しました。昨今の建築費の高騰と人手不足という厳しい現状の中で、31もの施工業者に打診した中で2社に絞り込まれ、概算見積りの理事会承認を得られたのは昨年11月でした。現在詳細設計案を検討中で、今年6月からようやく現在のホールの取り壊しが始まる予定です。現在のホールは1972年に建てられて以来、半世紀以上に渡って学園の基盤である毎朝の礼拝だけでなく、毎年の入学式、卒業式、創立記念式典や恵泉デーでの生徒発表など、学園生活を支える舞台として生徒達の成長を見守り続けてくれました。それはあたかも学園を支える神様の御手のような存在です。新しく生まれ変わるホールも、今までと変わらずに生徒一人ひとりにとって心の拠り所となることを夢見て、皆で祈りを合わせております。

中高では、学園の三本柱の一つである「国際」について、多くの生徒達が意欲的に学んでいます。コロナ禍にも継続実施してきたグローバル・スタディーズ・プログラムには、この夏90名以上の生徒が参加しました。また、1月から3月に生徒を派遣するオーストラリアへの中期留学先に、ニュージーランドも加えることにしました。さらに、伸びゆくアジアを体感し、将来アジアの発展と共生に尽くすマインドを育てる目的で始まったシンガポール訪問プログラムには、今年度からマレーシアの大学見学も含めることにしました。マレーシアの首都クアラルンプールには、欧米やオーストラリアとの提携大学が複数あり、3年間で学士を取得することもできます。恵泉も今年度マレーシアの8大学と提携することができましたので、生徒達の将来の選択肢がさらに広がることを願っています。

コロナ禍も落ち着きましたので、昨年度から中高6年間の宿泊行事の再検討も始まりました。見直しの主な要因として9月に実施してきた奈良・京都方面への5年見学旅行の暑さとインバウンド需要による見学先の混雑が挙げられます。ここ数年続く猛暑による生徒達の熱中症を回避する目的で検討を始め、長年の宿泊先との関係も大事にしつつ、平和を志向する恵泉生の学びを全生徒が体験するものにしたという願いも加味しました。そこで、60年近く続けられてきた京都・奈良方面への見学旅行を中学3年次に移し、有志生徒の学びの機会として35年以上継続してきた「ヒロシマ平和の旅」の趣旨を、長崎を拠点とする5年見学旅行に加えて再構築する計画です。27年度からの本格実施に向けて、今年度から下見やコース立案をリベラルアーツ教育部が担っています。

高大連携の取り組みでは、3月のサイエンス・デーに東京理科大学との連携で実施を重ねるワークショップも、今年度で3年目を迎えます。数学の結び目理論とトポロジー、脳神経細胞について等、中学生の頃から理系の学びへの興味関心を拡げることが狙いです。また夏休み中に芝浦工業大学でのインターンシップに参加したり、東京農業大学のオホーツク・キャンパスでの研修に参加したりする生徒達もおり、理系分野への進学者も増加傾向です。

このように、皆様からお寄せいただいた尊い基金によって、生徒達の自由闊達な学びの原動力をいただいております。一方、世田谷近郊での園芸の圃場確保の問題は近年の切迫した課題となっています。恵泉教育の礎である聖書・国際・園芸の堅持のためにも、引き続きお祈りください。特に、新フェロシップホールの建築については、多額の予算を必要としており、皆様のお支え無しには到底実現できないプロジェクトです。学園の創立100周年を覚え、皆様からの厚いお支えをいただけますよう、お願い申し上げます。



フェロシップホール趣意書の写真



グローバル・スタディーズ・プログラム写真



## 2025年度活動報告 大学



学長 大日向 雅美

2025年度の在學生は約250名となりました。長期休み明けにキャンパスに広がる学生の笑い声や姿には、その数にかかわらずいつも励まされています。会員の皆様にも変わらぬご支援をいただいておりますことも、大変に心強くて有難いことでございます。本年も心からの感謝とともに、ご助成いただきました各プログラムについてご報告申し上げます。

「生涯就業力教育」では、4年生の秋学期必修科目の生涯就業力STEPⅧで、教育のたしかな結実を目的の当たり前にしております。学生自身の言葉で語られる恵泉生活の振り返りは、担当教員の心に深く刻まれています。学生たち自身が卒業後歩んでいく人生にも、必ず力を与えてくれるに違いありません。また、2025年度も学内表彰を行いました。教職員が目をつけているのは、華々しい活躍をしている学生ばかりではありません。少人数でも学内行事を盛り上げる工夫をしたり、地域社会に貢献し、地道に活動を続けたりしている学生たちが候補に挙がり、学長賞に1名、特別賞には7名と3団体が表彰されました。2026年度も、学生たちが何か一つのことへ一生懸命に取り組む姿を見過ごさずに行きたいと感じています。

「障がい学生支援」では、継続して多摩市の点訳事業団体が視覚障がい学生用のテキスト等点訳を担ってくださっています。取り扱うテキストの難しさ、期限の厳しさもあるなか、学びの保証のために変わらずご協力いただいていることに感謝しております。

「地域言語活動研究会」では、2025年度もKPKA（恵泉平和紙芝居研究会）を中心に、地域での活動を継続してきました。多摩市内の小学校、コミュニティーセンター、駅前のこどもひろばでの実演、多摩市平和展でのKPKAプロデュース公演のほか、小学生の紙

芝居アクター養成なども行っており、恵泉の中から地域に継続されていくものがあることを実感しております。

「国際交流・英語教育プログラム」では、韓国への協定留学派遣、夏休み期間中にフィリピンとカナダでの英語語学研修が行われました。最後の協定留学派遣は、韓国へ1名、2026年度春学期のみです。また協定留学生の受け入れは、3月に韓国へ帰国する3名をもって終了となりました。これまで相互に学び合う機会をくださってきた協定校にも感謝です。

フィールドスタディは9月にタイ短期プログラムが行われ、これで大学でのすべてのフィールドスタディプログラム実施が終了となりました。10月にはこれまでタイ長期FSでお世話になったタイの村人を迎えて、歴代の長期FS参加卒業生のリユニオンが開催されました。在学時代の学びが様々な形で生きている様子が伺えました。

「キャンパス整備」では、施設老朽化による故障・不具合が相次いでおります。学生・教職員・来学者の皆様の安全確保を第一優先に、予算も大切に使用させていただきながら引き続き施設・設備の修繕、機器整備を進めさせていただいております。

2026年度の在學生は約100名。教職員一同心新たに、保証人の皆様からいただいている教育プログラムの確かな遂行へのご期待、学生たちから届いた学生生活サービスへの意見や要望を忘れず、教育活動・行事を進めてまいります。

卒業生・学園関係者の皆様はじめ、フェロシップ会員の皆様のお力添え、引き続き在學生たちのための祈りとご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



タイ短期FS：ミャンマー国境付近の子供たちの保護・救済にかかわるクルーナム財団訪問



多摩市平和展：KPKAプロデュースの公演出演者

# ▶2026年度行事等のご案内

以下の行事を計画しております。  
日程が近くなりましたら、学園・大学・中高・同窓会ホームページ等でご確認ください。

## 学園創立 97 周年記念行事

記念式典 2026年10月29日(木) 世田谷キャンパス  
恵泉デー 2026年11月3日(火) 世田谷キャンパス  
恵泉祭 2026年11月8日(日) 多摩キャンパス  
2026年度の創立記念行事の日程は上記のとおりです。内容の詳細については改めてご案内いたします。

## 大学 恵泉スプリングフォーラム

2026年5月23日(土) 多摩キャンパスにて開催最後のスプリングフォーラム。在学生・卒業生、地域の方々とともに楽しめる機会になればと考えます。  
・リユニオン in 多摩(大学/大学院2018年3月～2021年9月卒業生/修了生をご招待)  
・同窓会主催「園芸フォーラム」開催予定

## 恵泉女学園同窓会 2026年度総会・ホームカミングデー

同窓会総会とホームカミングデーを下記の要領で行います。

日時：2026年5月16日(土) 12:30～16:00  
場所：世田谷キャンパス

プログラム：

12:30 礼拝

お話：本山早苗先生(高校33)  
中学・高等学校校長

総会

ホームカミングデー

パイプオルガンコンサート

演奏：荒井牧子さん(高校53)

中学・高等学校オルガニスト

16:00 閉会

\*同窓生には4月中にご案内をお送りいたします。どうぞご覧ください。

# ▶事務局からのお知らせ

## \*会費納入のお願い

会費納入のご案内は毎年秋頃、全会員様に発送しております。今年度分は、3月末日まで受付しております。今後とも継続してお支えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、お知り合いの方などにも本会へのご加入をお勧めいただきたく、併せてお願い申し上げます。

手続書類等が必要な場合には、下記恵泉フェロシップ事務局までご連絡ください。

## \*会費・寄付金の預金口座自動振替制度

恵泉フェロシップ会費・寄付金のご納入については「預金口座自動振替制度」を導入しています。自動振替の時期は7月及び12月です。7月の振替を希望される場合は5月末日(必着)までに、12月の場合は10月末日(必着)までにお申し込みください。

### ●お振込みでのご寄付

右記の二次元コードからお申し込みのうえ、お振込みください。振込先はお申し込みフォームに記載しております。



## \*クレジットカード決済制度

学園HPからクレジットカードを利用して、恵泉フェロシップ会費・寄付金をご納入いただけます。

詳しくは、学園HP内の後援会組織「恵泉フェロシップ」をご覧ください。

<https://keisenjogakuen.jp/donation/fellowship/>



## \*寄付金の遺贈制度

学校法人への遺贈については、金銭又はその他の財産であることを問わず、相続税の計算から除外されることになっています。学園では三菱UFJ信託銀行と遺言信託に関する協定を結んでおります。これらに関するご相談は、事務局あてにご連絡ください。

## \*税制上の優遇措置制度

恵泉フェロシップへのご寄付は、学校法人に対する寄付金として税制上の優遇措置を受けることができます。具体例などを学園HP内に掲載しておりますので、ご覧ください。

## 恵泉フェロシップ会報 第46号

発行日 2026年3月1日

発行 学校法人恵泉女学園

編集 恵泉フェロシップ事務局

156-8520 東京都世田谷区船橋5-8-1

Tel:03-3303-2111 Fax:03-3303-2323